

1980年代以降の中国人類学の歩み：民族、社会と国家

北京大学社会学人類学研究所 麻 国慶 (E-mail maguoqing@hotmail.com)

● 問題提起：

グローバル化の過程における中国の人類学の特徴

社会主義国家の中国において、人類学者・少数民族と漢族・国家との関係

一、1980年代以降の人類学学科の建設

(一) 人類学部と専攻の設置

- 1、1980年代初期、南方中山大学と厦門大学の人類学系の設置
- 2、1990年代以後、北方北京大学、中央民族大学などをはじめ、人類学専攻の設置
- 3、2000年以後、大学や社会科学院のような研究機関において人類学研究センターの設置。

清華大学、中国社会科学学院、中国人民大学、復旦大学、民族学院など。

4、学部生と院生

(二) 2000年以降の国家レベルの研究基地と重点学科の出現

研究基地：民族学の名義で設置。主に少数民族の研究

例えば：中央民族大学：中国少数民族研究中心

蘭州大学と新疆大学：中国西北少数民族研究中心

四川大学とチベット大学：チベット学研究中心

内モンゴル大学：モンゴル学研究中心

雲南大学：中国西南辺境研究中心

人類学重点学科：北京大学と中山大学

民族学重点学科：中央民族大学と雲南大学

(三) 国家教育部北京大学人類学高級研討班と国際シンポジウム

1 北京大学社会文化人類学高級研討班

第一回(1995)から第六回(2001年)まで

2 国際シンポジウム(部分)

1984年、中山大学人類学部によって主催された人類学国際会議

1989年12月末－1990年1月、第一回国際都市人類学学会シンポジウム

1998年、北京大学百年記念、人類学国際シンポジウム“文化自覚と異文化

対話”

2000 年、国際人類学と民族学連合会中期会議 “都市民族文化：維護と相互影響”

(四) 欧米日本人類学の著作の翻訳と中国の学者が書いた教科書

1 翻訳書 (省略)

2 教科書 (1995 年以後、部分) :

黄淑娉 龚佩華 『文化人類学理論与方法研究』、広東高教出版社、1996 年

容観琮 『人類学研究方法』、広西民族出版社、1999 年。

汪寧生 『文化人類学方法』、文物出版社、1996 年。

庄孔韶 『文化人類学』 2002 年

麻国慶 『走進他者的世界——文化人類学』 学苑出版社 2001 年 1 月

二、イデオロギーとしての民族学から社会生活としての人類学へ

(一) イデオロギー (社会意識形態) 民族学の持続と検討

1 原始社会史研究の討論

童恩正『モルガンと中国的原始社会史研究』『中国社会科学』1988 年第 3 期。

2 1950 年代中国少数民族社会歴史調査報告の整理と出版

3 研究論文と学位論文

(二) 多民族社会の認識論

1 費孝通先生 『中華民族多元一体理論』の提出

2 中華民族多元一体理論に基づいての研究

『中華民族研究的新探索』『中華民族向心力の形成和發展』など。

(三) フィールドワークに基づいた人類学的研究

1、漢民族研究が再び盛んになった

(1) 再調査

1930 年代から 40 年代までの民族誌の再調査

ア 費孝通 『江村農民生活及其変遷』蘭州：敦煌出版社 1997 年。

沈関宝 『静悄悄的革命』雲南人民出版社 1992 年。

イ 林耀華 『金翼』 → 庄孔韶 『銀翅』

ウ Kulp, D..H. : Country Life in South China. (The Sociology of Familism. New York Teachers College Columbia University, 1925.) →

周大鳴 『鳳凰村的變遷』三聯書店（待出）

エ 他の村の再調査：Yangmaochun の 山東“擡頭村”、許煥光（Under the Ancestors' Shadow）の雲南大理喜洲など。

（2）漢族の農村社会

ア 南方： 厦門大学（1980 年代）：陳国強を始め、『崇武人類学調査』など。

王銘銘 『社区的歷程』、天津人民出版社、1997.

黄淑娉編『広東族群と区域文化研究』、広東高等教育出版 1999

張小軍 『再造宗族：福建陽村宗族“復興”的研究』、香港中文学大学博士論文。

他に： 社会学と社会史の研究
民俗学との関係
考古学との関係：民族考古学など。

イ 北方： 景軍 1996 *The Temple of Memories: History, Power, and Morality in a Chinese Village*. Stanford: Stanford University Press.

羅紅光 『黒龍譚』（日本語）

麻国慶 『家和中国社会構造』、文物出版社、1999年。

他に：博士論文など。

2、少数民族の調査と研究

特徴：南方少数民族とチベット族人類学調査が盛んになっている。北方人口が多い少数民族の人類学的な調査が比較に少ないである。

格勒『論藏族（チベット）文化の起源、形成と周辺民族の関係』

（中山大学出版社、1988年）、格勒他『藏北牧民』など。

周 星 『民族政治学』中国社会科学出版社 1993.12『民族学新論』陝西人民出版社 1992.4

王 築 生 1997 *The Jinpo Kachin of the Yun-nan Plateau*. Tempe: Prog. SE. Asian Stud., Ariz. State Univ.

蔡 華 (Hua Cai) *A society without fathers or husbands: the Na of China* / Cai Hua; translated by Asti Hustvedt. New York: Zone Books, 2001

尹紹廷 『雲南物質文化』上・下

雲南大学編集の『雲南民族村寨調査』シリーズ、雲南大学出版社 2000年。

三 実践的な人類学：国家、開発と現地人

（一）1980年代以降の民族識別——少数民族人口の増加

（二）少数民族地域の開発と発展

1 辺区開発 1980 年代 費孝通の提案、成果：『辺区開発論著』、北京大学

2 人口 10 万人以下の少数民族の調査 2000 年 費孝通の提案

表 2. 1990 年中国人口 10 万人以下の民族の人口規模と地域分布

民族	人口数	主要分布地域	民族	人口数	主要分布地域
珞巴族	2322	西藏	德昂族	15461	云南
高山族	2877 (大陆)	台湾、福建	基诺族	18022	云南
赫哲族	4254	黑龙江	京 族	18749	广西
塔塔尔族	5064	新疆	鄂 温 克 族	26379	内蒙古
独龙族	5825	云南	怒 族	27190	云南
鄂伦春族	7004	黑龙江、内蒙古	阿昌族	27718	云南
门巴族	7498	西藏	普米族	29721	云南
保安族	11683	甘肃	塔 吉 克 族	33223	新疆
裕固族	12293	甘肃	毛南族	72370	广西
俄罗斯族	13500	新疆、黑龙江	布朗族	82398	云南
乌孜别克族	14763	新疆	撒拉族	87546	青海

成果：『中国人口が少ない少数民族の経済と社会発展調査報告書』（内部資料）、

(三) PRA (Participatory Rural Appraisal、郷村快速評価) 技術の応用

(四) 他の応用研究

エイズ、民間医療、生態、観光、都市民族文化、出稼ぎ（漢民族と少数民族の人口流動）など。

四 討論

1 研究者と研究対象：中国人類学の本土化と Home Anthropology （末成道男）
一国内部の自者と他者

2 国家人類学 (national anthropology) : Gerholm and Hannerz (1982)
社会と国家 少数民族と国家

3 存在問題